

総合型地域スポーツクラブの調査研究(2)

清雲, 栄純 / Kiyokumo, Eijun

(出版者 / Publisher)

法政大学体育・スポーツ研究センター

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

法政大学体育・スポーツ研究センター紀要 / 法政大学体育・スポーツ研究センター紀要

(巻 / Volume)

27

(開始ページ / Start Page)

47

(終了ページ / End Page)

65

(発行年 / Year)

2009-03-31

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00007577>

総合型地域スポーツクラブの調査研究【2】

Comprehensive Sport Clubs : Researches and Investigation【II】

清 雲 栄 純 (法政大学)
Eijun Kiyokumo

I、はじめに

前回の総合型地域スポーツクラブの調査研究【1】で明らかになったように、さいたま市のスポーツ環境は市民が求めてレベルには達していない。市民に対しての「運動やスポーツ活動に関する調査」では、運動やスポーツ活動を行っている割合は35.7%と低く、週一日以上の実施率も28.9%と全国平均の44.4%を大きく下回り『地域のスポーツ振興』が全国と比較しても遅れている実態が明らかになった。「健康や体力に関する調査」でも、8割以上の住民が健康や体力に注意を払っている一方で8割近くの住民が運動不足を感じている。また、6割以上の住民が運動やスポーツは重要であると考えながらも、6割以上の住民が現状の運動やスポーツ活動に満足していないという傾向が見られた。その特徴として運動やスポーツを『行わない』7割以上の住民が「仕事や家事・育児が忙しくて時間が取れない」「気軽に出来る場所がない」と理由に挙げ、特に20代～30代が深刻で「本当はしたいと思っても出来ない」と答えている。これに加え、運動やスポーツ活動を『行っている』と答えた住民の約5割は「増やしたい」「低料金なら」と答え、その多くは20代～40代に集中した。

運動やスポーツ活動をさらに行ったり始める条件として、「スポーツ施設や運動する場所が近くにあれば」「クラブ会費や施設の使用料金が安くなれば」「都合のよい時間にできれば」「自分のレベルや目的にあったプログラムを選べる」などの意見が大半を占めた。

このような地域のスポーツ環境を変えるためには、地元住民が主導してアクションを起こさない限り何も始まらないと考えた私たちは2002年5月に有志の皆さんと連携して多項目・多世代・多様性を備えることを目的にしたヨーロッパ型の総合型地域スポーツクラブの調査・研究会をスタートさせた。翌年の4月には設置準備委員の情熱と地元住民の皆さんのサポートで「さいたまスポーツクラブ」を立ち上げる事となる。運営会議や地域住民への啓蒙活動を重ねるごとに、メンバーが一体感を持つようになり住民が要望するクラブ作り(社会・地域貢献活動)ができるのではないかと考えるようになってきた。

ヨーロッパ型の総合型地域スポーツクラブを目標に掲げて地域住民とともに歩み始めたこのクラブが今までどのような活動をしてきたのかを検証し、今後どのような計画を持ってチャレンジして行くのか考察する。

II、「NPO法人さいたまスポーツクラブ」の設立趣旨

2002年4月に「さいたま市」が誕生し、「政令指定都市」として自立した「まち」を目指してその第一歩を踏み出した。他方、私達の住む「まち」をより魅力的なものにしていくためには、地域住民が、積極的に「まちづくり」に参加する事が重要である。地域のスポーツ活動の面においても、幅広い年齢層が気軽に参加できるような身近なスポーツ環境を整備していくためには、地域住民がその運営に主体的に参加する事が必要である。

近年、高齢化社会の到来や複雑化するビジネスの現場におけるストレスの増大、生活習慣病の増加など社会環境の変化による諸問題が顕著化するなかにおいて、地域におけるスポーツやレクリエーションが果たす役割がクローズアップされている。また、都市化や核家族の常態化により子供達の地域社会への参加機会が稀有となり、行き場がなくなった子供達が非行や犯罪に走る事さえある今日において、住民が自から参加するスポーツや文化的活動を通じた学校以外の場における健全な子供の育成も地域における重要なテーマであるといえる。

地域におけるスポーツ活動については、各競技団体を通じて積極的に行われてきたが、学校や種目単位の活動がその主体であり、競技志向的な色彩も強い場合が多く、一般の人が気軽にスポーツを楽しむという開かれたものはまだ少ないのが現状である。

そこで私たちは「さいたまスポーツクラブ」を設立し、さいたま市内でクラブハウスを中心に地域住民が気軽に複数のスポーツを継続的に楽しめる場を創出し、幅広い年齢層の参加を促し地域社会のコミュニケーションの増大を図ることを目的とする。また、指導者の育成にも取り組み個々のニーズに応じた的確な指導が出来る体制を整えることで、年齢に関わらず興味や関心、技術や技能のレベルに応じたスポーツを楽しむ事が出来るようにすることやプロ選手との交流・連携を通じて地域の連帯を深めることで、各種の文化サークルを創設運営し、スポーツだけではなく文化的活動からも地域社会の再生に資することが重要である。

総合型地域スポーツクラブの設立が地域住民のスポーツへの生涯参加と青少年の健全な育成を図るとともに地域コミュニティを再構築し、その活性化を図る等の公益に寄与するものとする。

Ⅲ、「さいたまスポーツクラブ」の歩み

Ⅲ－１）２００３年度 事業・活動検証

２００２年５月から地元有志の皆さん１５名で続けてきた総合型地域スポーツクラブの設置準備委員会を発展解消して運営委員会を立ち上げた。行政との連携が不可欠と判断した運営委員会はNPO法人の取得を目標に地域住民との意見交換を通じて「総合型地域スポーツクラブ」の啓蒙に重点を置いて活動を開始した。

１ 事業の成果

（Ⅰ）事業については、見沼区住民への啓蒙理解を含めて区民フェアにおいて出展を行い「キックスピード大会」を実施したところ、約２００名という予定人数の２倍の参加があり、従事者数は少ないが効率よく多くの人々に活動を提供できた。

（Ⅱ）の事業については、「総合型地域スポーツクラブ」理解と啓蒙のための説明会を実施した。チラシをもとにふれあいフェアの参加者に対して総合型のPR活動が予想以上に出来たことは理解者を増やすことにつながった。また、運営委員会においてオブザーバーが住民に総合型を説明することで運営委員メンバーの増加につながることができた。理解者を増やし、運営委員のメンバーの増加につながることができた。

２ 事業の実施に関する事項（２００３年９月４日～２００４年３月３１日）

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の範囲及び人数
（Ⅰ）各種スポーツ活動、レクリエーション活動及び文化活動の育成及びその普及	スポーツ及びレクリエーション活動の提供	2003.11.8	見沼区堀崎グラウンドにおける見沼区ふれあいフェア会場	6人	主に見沼区住民 200名
（Ⅱ）その他の法人の目的を達成するために必要な事業	「総合型地域スポーツクラブ」に関する説明及び啓蒙	2003.4～2004.3	見沼区ふれあいフェア及び「総合型地域スポーツクラブ」説明会及び見沼運営委員会	16人	見沼区住民 160名

２００３年度事業・活動（詳細）

2003・04	さいたまスポーツクラブ設立総会「第１回運営会議」	区役所・堀崎公園見学
2003・04	NPO法人設立認証を埼玉県庁へ申請	
2003・05	第２回運営会議（スポーツクラブ設立準備委員会の設立決定）	区役所
2003・06	第３回運営会議（定款及びグラウンドデザインの検討）	区役所
2003・06	第４回運営会議（スポーツクラブ設立計画検討）	区役所
2003・07	第５回運営会議（見沼区民会議報告、講演会の実施）	区役所
2003・08	第６回運営会議（NPO法人資格取得報告・講演会告知検討）	区役所
2003・09	NPO法人さいたまスポーツクラブ法人登記	
2003・09	第７回運営会議（講演会の内容検討）	区役所
2003・10	第８回運営会議（NPO教育支援協会との意見交換）	区役所
2003・10	第９回運営委員会（スポーツクラブ説明会準備）	区役所
2003・10	第１回地域説明会 テーマ「みんなでつくろうスポーツクラブ」	公民館
2003・10	第１０回運営委員会（第１回説明会総括・さいたまスポーツクラブ組織編成）	区役所
2003・11	見沼ふれあいフェスタ出展	堀崎公園
2003・11	第１２回運営委員会（第２回地域説明会計画・イベント活動報告）	区役所
2003・11	第２回地域説明会	自治会館
2003・12	NPO法人さいたまスポーツクラブ事務所開設	
2004・01	理事会	事務所
2004・02	運営委員会（地域住民との意見交換）	事務所
2004・02	理事会	事務所
2004・03	運営委員会（地元住民に対する講演会準備）	事務所
2004・03	理事会	事務所

第１回地域説明会



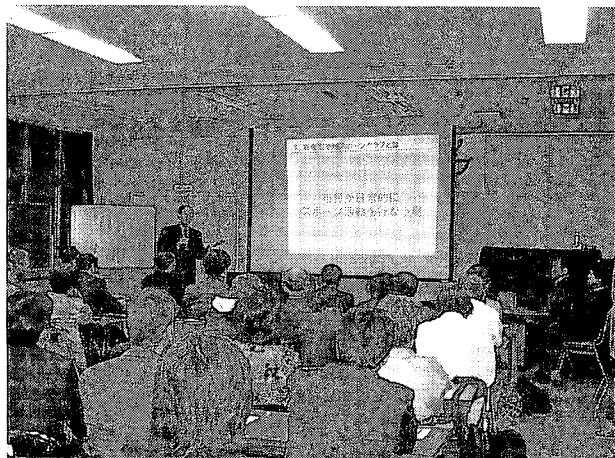
2003.10.18

第１回地域説明会及び講演会

日時 2003年10月18日（土）午後５時30分～午後７時30分
会場 見沼区大砂土東公民館にて

参加者 主に見沼区地域に住む方々
 来賓 見沼区長 杉山氏
 さいたま市企画監 飯田氏
 さいたま市スポーツ企画課長 小池氏
 県立スポーツ研修センター 赤木氏
 ブロンコスGM 成田氏
 講演 「みんなでつくろう 見沼スポーツクラブ」
 講師 清雲 栄純
 主催 NPO法人さいたまスポーツクラブ

地域住民に対して「総合型地域スポーツクラブ」の講演会



設立メンバー15名の紹介



第1回説明会参加者からの意見・要望等 (2003. 10. 18 公民館)

《 同調・賛同的 》

- 高校サッカー部監督を22年やり終え、国際学院高校に勤務。何年間勤務するかわかりませんが、何かスポーツに関われればと思い、来てみました。時間が空いている限り参加したいと思います。(中村氏)
- 清雲氏の構想の大きさに感動。しかし、クラブを支える源はクラブ会員(地域住民)である。総合型地域スポーツクラブの理念やメリットを徹底的に啓発していくことが

大切と考える。(スポ研 赤木氏)

- 会のPR、広報を拡大して、法人よりも個人会員集めを推進して下さい。(楠木氏)
- 場所・時間・お金・人、とたくさんのことが必要で、多くの壁にぶつかるのだと実感したが、できないことではないと思う。多くの人の理解と協力を得る努力をして、それを無駄にしないことが大切だと思う。(学生、田口氏)
- 是非実現させてください。学校体育との関係、協力体制が一番のネックかも知れませんが、時代はその枠組みの再編を必要としています。特に行政は、組織が複雑で一番やっかいですが。スポーツ＝文化を日本に根付かせてもらいたいと思います。(三角氏)
- 総合型に魅力を感じる。区内の多方面の職業、専門家(メディカル面で医者等)への広報活動をする。区民の意識改革からスタートする。(東氏)
- 地域の子どもや住民の動員による、心を感動させる活性化を期待します。資金づくり、クラブ運営など段階的に準備を進めてください。(加藤氏)
- 皆さんの真剣な姿勢に感動。(学生 岡本氏)
- 着実な前進を期待します。(区 岡本氏)
- 素晴らしい。是非実現を。(田口氏・鈴木氏)

《 具体性を要望 》

- 設立賛成ですが、具体的に財政面など何から出発させて、発足させるのか、雲をつかむような話としてききましたが・・・(体操ク 森氏)
- リーダーと推進メンバーの人选が肝要だと思う。興味あり。プランや資金計画等もう少し確信を持てれば参加したい。1回の説明でなく、もっと突っ込んだ話を聞きたい。(卓球ク 矢野氏)
- 興味はあるが、具体性が不足。文化、学校ブロック等の関係はどうなるか。(剣道 北沢氏)

《 その他 》

- グランドの確保・学校施設の土日の開放・高齢者スポーツ団体への補助金制度・各スポーツの区長杯等・行政との定期的打ち合わせが必要(ソフト 安藤氏)
- グランドゴルフ場の設置希望 (相沢氏・三輪氏)
- さいたまスポーツクラブの名前絶対反対、別に考えてほしい。(野球ク 成田氏)

- 第1回目の説明会には58名の地元各種競技団体や地域住民の皆さんに参加していただき「総合型地域スポーツクラブ」への興味や関心が高い事に手ごたえを感じた。

Ⅲ-2) 2004年度 事業・活動検証

2003年度の地域住民の皆さんに対しての説明会・講演会を通じて参加者からの意見や要望を参考に事業計画を策定し実

践できた。その結果、スポーツ・レクリエーション活動や文化的活動が住民の皆さんの献身的なボランティア活動のおかげで実行できた事は大きな自信につながった。共催や協力事業にも取り組む事で他の組織と交流できた事は今後のクラブのスキルアップにつながる。

1 事業の成果

(Ⅰ) の事業について

スポーツ活動では9種目の教室を開催する事が出来た。講習会と2度のサッカー大会を含めると約1000人の参加者となった。また、文化活動でも5種類の事業で約400人の参加あり、延べ約1400人の地域の人々に活動の機会を提供することができた。地域住民を対象にしたスポーツ活動・文化的事業開始の年としては大きな実績となった。

(Ⅱ) の事業について

県や市単位のイベントも活用して啓蒙活動を実施した。クラブが開催するスポーツ活動や文化的事業の説明の際にもPRする時間を設定し、口頭説明とともに資料による啓発を行うなど、回数、範囲共に前年度に比べ大幅に「総合型地域スポーツクラブ」の周知ができた。

2 事業の実施に関する事項 (2004年4月4日～2005年3月31日)

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の範囲及び人数
(Ⅰ) 各種スポーツ活動、レクリエーション活動及び文化活動の育成及びその普及	スポーツ及びレクリエーション活動の提供	2004.4.18～2005.3.19	見沼区大砂土東公民館・大宮体育館・武道館・堀崎公園グラウンド他	50人	主に見沼区住民930人
(Ⅱ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業	「総合型地域スポーツクラブ」に関する説明及び啓蒙	2004.4.24～2005.3.6 随時	見沼区堀崎公園グラウンド・県民総合活動センター・堀崎町自治会館他	45人	埼玉県民及び埼玉市民約1,300人

2004年度 事業報告

【一般管理等事業】

- 事務局の運営
- 財源確保 (バナー広告)
- クラブパンフレット作成
- 県への提出・報告・申請・登記事務
- ホームページ管理・運営
- 各種活動支援 (会場・講師・保険・ちらし・会計等)
- 後援依頼、助成・委託事業、指定管理委託等申請・報告
- 年間事業のまとめ・報告・次年度計画
- 各種会議等実施・報告

【主催事業】

スポーツ活動種目

事業名	回数/年	参加人数	ボランティア人数
スポーツ			
<教室>			
フットサル教室	14	14×43人=602	
卓球教室	9	84	
ミニテニス	6	56	
ビリヤード	4	25	
ウォーキング	5	50	
バスケットクリニック	1	40	
ニュースポーツ数種類	1	20	
グランドゴルフ	1	11	
親子体操	1	40	
<大会>			
サッカー大会	2	100	
フットサル大会	1	29	
計	45	1057	50
文化			
福田氏講演会	1	300	
ジャズ・オカリナコンサート	2	50	
陶芸教室	1	20	
沖縄料理教室	1	18	
歌と音読教室	7	43	
計	12	431	45

その他

- 総合型地域スポーツクラブ説明会
 - ・ 講演会参加者対象
 - ・ 堀崎自治会幹部対象

【大宮区助成事業】

- フットサル教室 (小学生)

【協力事業】

- 見沼区「てくてく見沼」ウォーキング……コース等企画・準備・引率・支援車
- 見沼区ふれあいフェア「キックスピード」出展……キック大会・活動紹介掲示・パンフレット配布・アンケート

【共催事業】

- ふあいぶる主催「彩の国のスポーツ環境」シンポジウム…参加申し込み受け付け業務・当日参加

【協賛】

- スペシャルオリックス トーチラン…第4区補助ランナー部隊結成・運営協力・協賛金

【その他】

県・市主催事業出展

- ・埼玉県NPOフォーラム（展示参加）
- ・さいたま市市民活動シンポジウム（展示参加）

総合型クラブ研修・講習会等

- ・総合型スポーツクラブ設立準備研修会実施（講師林隆弘氏他）
- ・自主学習会実施（見沼委員有志）
- ・県クラブマネージャー講習会 参加 1名
- ・埼玉県NPO法人人材育成研修会 参加 1名

スポーツ事業①



チャリティーサッカー大会



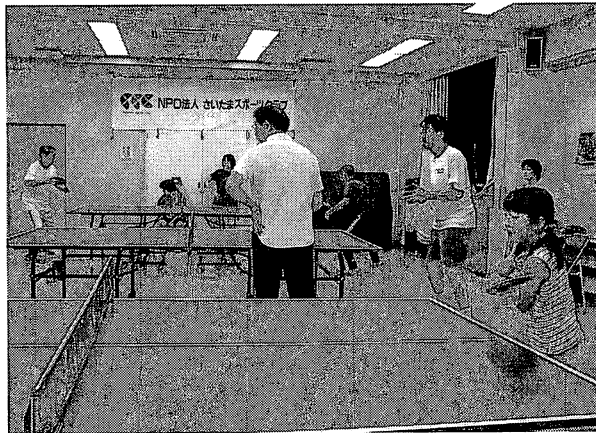
ビリヤード教室



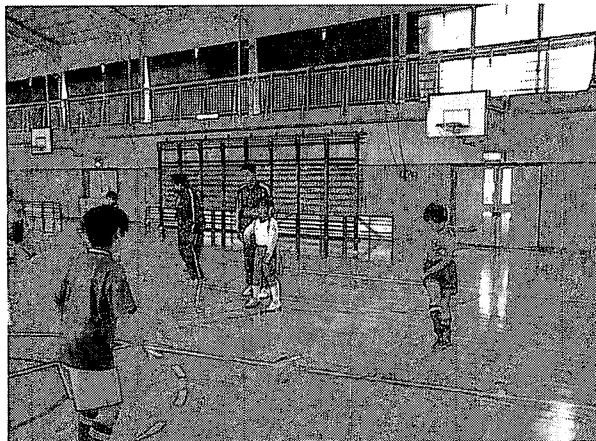
ミニテニス講習会



親子体操



卓球教室



大宮区助成事業 小学生フットサル教室

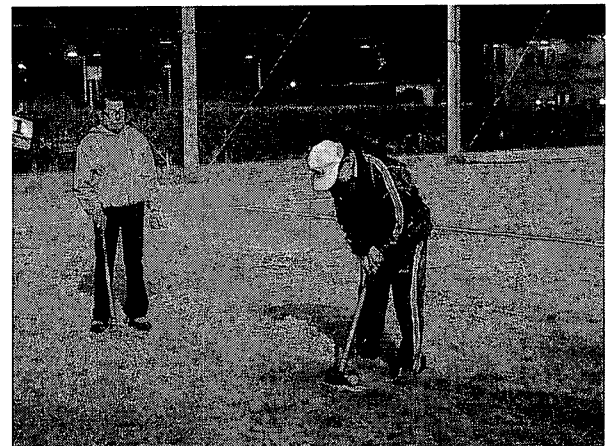
スポーツ事業②



ブロンコスバスケークリニック



ニュースポーツいろいろ

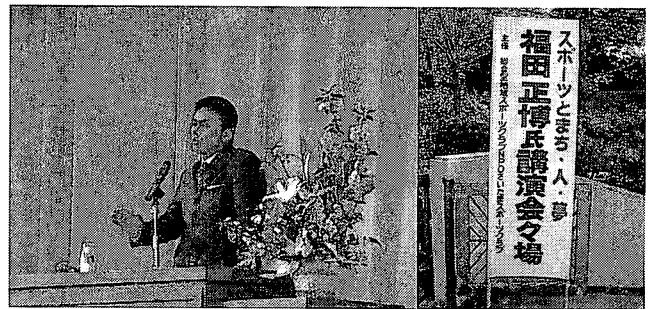
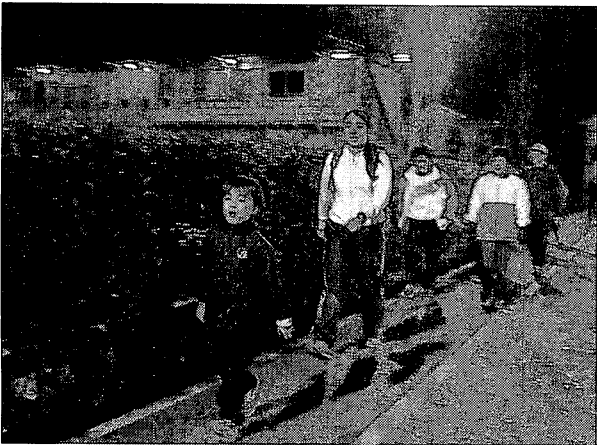


100円玉で参加しよう！

グラウンドゴルフ・チャレンジフットサル・ウォーキング講座



スペシャルオリンピックス
トーチラン協賛



福田正博氏講演会

100円玉で参加しよう！
グラウンドゴルフ・チャレンジフットサル・ウォーキング講座

文化事業



見沼区ふれあいフェア キックスピード



ジャズのタベ

Ⅲ―３）２００５年度 事業・活動検証

クラブ設立の目的としていた「コミュニティーの復活」「子供達の居場所づくり」に向けての第一歩を踏み出す年となった。地域住民の人的・物的サポートは想像を超えるパワーをクラブにもたらした。

１ 事業の成果

（Ⅰ）の事業について

見沼区における総合型クラブ立ち上げメンバー等の協力を得て、スポーツ活動は６種目の教室および講習会を年間で合計65回実施し延べ約1700人が参加した。また、文化活動では２つの事業で延べ約400人の参加があった。その他９件の共催及び協力事業を実施でき、参加者数は昨年度の約３倍になった。活動拠点として欠かせないクラブハウスはまだないが総合型クラブとして多世代・多種目の事業展開ができるようになった。この継続は健康増進と共にコミュニケーションの輪が広がり地域住民の交流を図るという成果に繋がった。

（Ⅱ）の事業について

堀崎町自治会の理解と協力を得て開設した地域子ども教室「わくわく広場」では約1,000人の大人と約1,300の子供たちの交流としての場が生まれた。クラブの目標としていた「子供達の居場所作り」の成果が現れてきた。

主催、共催の区別なく事業の際には「総合型地域スポーツクラブ」のPRも新しく製作したパンフレットの活用によって昨年度より広く「総合型地域スポーツクラブ」の啓蒙活動ができた。

２ 事業の実施に関する事項（２００５年４月１日～２００６年３月３１日）

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の範囲及び人数
（Ⅰ）各種スポーツ活動、レクリエーション活動及び文化活動の育成及びその普及	卓球・ミニテニス・ウォーキング・サッカー・フットサル・健康体操のスポーツ活動・コンサート・文化活動発表会の文化事業 主に見沼区の地域活動の協力	2005.4.1～2006.3.31	見沼区大砂土東公民館・大宮体育館・武道館・堀崎公園グラウンド・七里コミュニティセンター・堀崎町自治会館 他	50人	主に見沼区・大宮区住民 延べ約3,400人
（Ⅱ）その他の法人の目的を達成するために必要な事業	「総合型地域スポーツクラブ」に関する説明及び啓蒙 「地域子ども教室」実施	2005.4.1～2006.3.31	見沼区堀崎公園グラウンド・堀崎町自治会館他	50人	さいたま市民 約2,300人

２００５年度 事業 報告

【一般管理等事業】

- １．事務局の運営
- ２．財源確保（バナー広告）
- ３．県及び市等への申請、報告等

- ４．ホームページ管理
- ５．各種活動支援
- ６．渉外
- ７．各種会議設定および報告等

主催事業

（２００５年４月１日～２００６年３月３１日）

事業種類	種目・イベント名	回数/年	延べ参加人数	内訳大人
【文科省委託事業】	子ども教室（わくわく広場）	104回	2,329名	ボランティア1003名
小計			2,329名	

【スポーツ事業】	卓球教室	17	179	45
	ミニテニス	10	76	56
	体協委託 ウォーキング	9	157	143
	体協委託 サッカー	4	231	47
	フットサル（大宮）	24	960	
	健康体操	1	78	
小計		65	1,681名	

文化事業	歌と踊りフェスティバル	1	400	
【文化事業】	ジャズのタベ	1	24	
	歌と踊りと太鼓のフェスティバル	1	400	
小計		2	424名	

【共催・協力事業】				
久美愛園	障害者交流サッカー	1	46	
花と水の会	寄せ植え講座	2	63	
子供未来クラブ	田植	1	120	
商工会	七里商工会夏祭り祭り	1	200	
商工会	WESふれ合いフェスティバル	1	200	
見沼区	見沼ふれあいフェア	1	200	
見沼区	見沼区新春コンサート	1	350	
南風ギャラリー	南風ホームコンサート	1	20	
堀崎町	新春梯子のり	1	100	
小計		10	1,299名	
合計			5,733名	

【文部省委託地域子ども教室推進事業】

「見沼わくわく広場」実施（通年）

【スポーツクラブ設立事業】

（仮称）「さいたまSC」育成支援事業

（申請、運営事務・会議開催・事業等の支援）

【共催・協力等】

- ・ 田植え体験会
- ・ 寄せ教室
- ・ 見沼ふれあいフェスタ（キックスピード）
- ・ てくてく見沼（サポート隊）
- ・ 久美愛園交流サッカー
- ・ 堀崎新春はしご乗り
- ・ 見沼区新春コンサート
- ・ 七里商工会夏祭り（キックスピード）
- ・ WES・21フェスティバル（キックスピード）
- ・ 地域や福祉団体への協力及び協賛

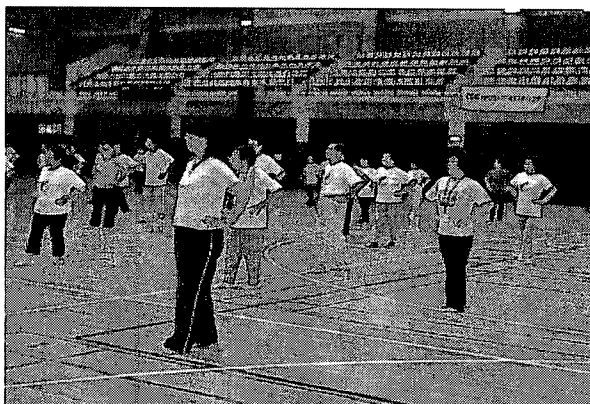
【その他】

- ・ 各事業部会開催
- ・ 各種研修及び講習会（日本体育協会主催）

【資格取得】

- ・ 県主催クラブマネジャー講習会（2名）

2005年度 NPO法人 さいたまスポーツクラブ
スポーツ事業



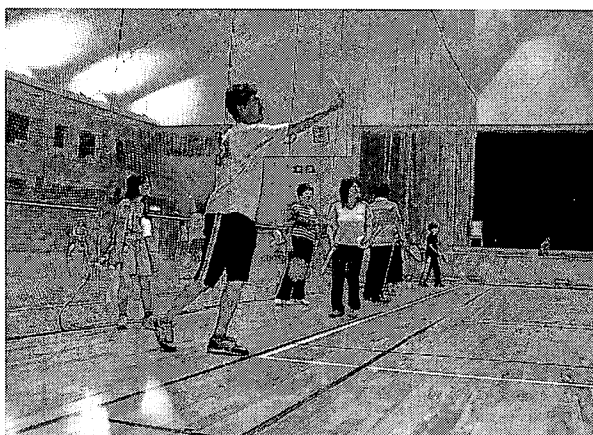
健康体操



交流サッカー大会



キッズサッカークリニック

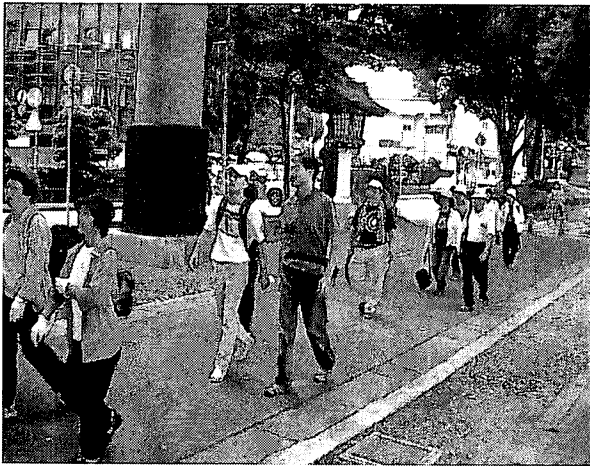


ミニテニス教室



卓球教室

2005年度 NPO法人 さいたまスポーツクラブ
文化事業



健康ウォーキング塾



放課後子ども教室
「わくわく広場」



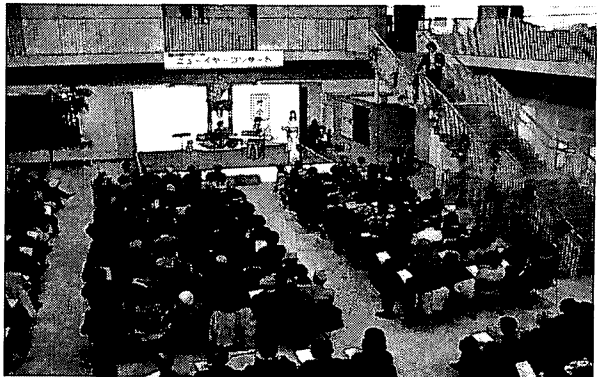
歌と踊りと太鼓のフェスティバル



歌と踊りと太鼓のフェスティバル



指笛コンサート



見沼区新春コンサート

Ⅲ－４）2006年度 事業・活動検証

地元企業との共同で、さいたま市の指定管理者制度を利用して大宮武道館(体育館)の維持・管理事業に取り組む。地域住民から認知される総合型地域スポーツクラブへとステップアップした年となった。

1 事業の成果

(Ⅰ)の事業について

2006年度より大宮武道館の指定管理者である共同事業体の一つとして、「市民サービス」「コミュニティ」「チャリティ」を柱に事業を展開。活動趣旨に賛同の見沼区住民の皆さんと共に10種目のスポーツ活動や3種類の文化イベントも実施でき、年間で約6,000人という、昨年度の2倍近い住民に活動の機会を提供することができた。また、『総合型地域スポーツクラブ』としてスポーツや文化事業の実施だけでなく、新しく連携をとる団体も増え、地域活動の協力体制がより広がった。昨年度に増して地域住民の健康増進と共にコミュニティの輪が広がり交流の場を提供する事が出来た。

(Ⅱ)の事業について

各種のスポーツ教室および文化イベントの実施時に「総合型地域スポーツクラブ」のPRを行い、繰り返しできるだけ多くの人々に認識してもらえるように取り組んだ。
「総合型…」を耳にしたことがある人が少しずつではあるが増えている。
「地域子ども教室」は子ども達の安全確保が難しい社会の現状の中で地域の大人たちの協力体制で工夫を重ねながら運営に当たり事故無く、様々な体験をさせることができた。子どもの居場所だけでなく大人も交えた地域コミュニティの場にもなった。

2 事業の実施に関する事項 (2006年 4 月 1 日～2007年 3 月 31日)

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の範囲及び人数
(Ⅰ) 各種スポーツ活動、レクリエーション活動及び文化活動の育成及びその普及	卓球・ミニテニス・ウォーキング・サッカー・フットサル・健康体操のスポーツ活動、コンサート・文化活動発表会の文化事業、他団体地域活動の協力	2006.4.1～2007.3.31	見沼区大砂土東公民館・武道館・堀崎公園グラウンド・七里コミュニティセンター・堀崎町自治会館 他	約60人	主に見沼区・大宮区住民延べ約6,000人
(Ⅱ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業	「総合型地域スポーツクラブ」に関する説明及び啓蒙「地域子ども教室」実施	2006.4.1～2007.3.31	見沼区堀崎公園グラウンド・堀崎町自治会館他	50人	さいたま市民約3,000人

2006年度 事業報告

【一般管理等事業】

- 事務局の運営
- 経理・財源確保（バナー広告・寄付）
- 県及び市等への申請、報告等
- ホームページ管理
- 渉外
- 各種会議設定および報告等
- 活動の支援（保険事務・用具等購入・人員確保等）

主催事業

(2006年 4 月 1 日～2007年 3 月31日)

事業種類	種目・イベント名	回数/年	延べ参加人数	内訳	
				大人	子供
【文科省委託事業】	子ども教室(わくわく広場)	180回	2,520名	ボランティア950名	1,570名
小計			2,520名		

【スポーツ事業】	卓球教室	21	429	
	ミニテニス	3	269	
	体協委託 ウォーキング	9	157	
	体協委託 サッカー	1	51	
	ヨガエクササイズ	74	1,560	
	バドル健康体操	2	105	
	グランドゴルフ大会	1	269	
	夏休み「選んで参加スポーツ広場」	7	147	
	健康体操(ヒザ腰健康講座含む)	20	826	
	アルディージャ応援ツアー	4	153	
	フットサル(大宮)	20	800	
小計		162	4,766	

【文化事業】	コンサート(平林 龍)	2	298	
	歌と踊りと太鼓のフェスティバル	1	972	
小計		3	1,270	

【共催・協力事業】				
花と水の会	寄せ植え講座	2	78	
商工会	七里商工会夏祭り祭り	1	300	
商工会	WESふれ合いフェスタ	1	200	
見沼区	見沼ふれあいフェア	1	130	
南風ギャラリー	南風ホームコンサート	1	83	
見沼ヘルシーランド	見沼ヘルシーランド	3	89	
堀崎町	新春梯子のり	1	100	
小計		10	980	
合計			9,536名	

【研修等】

- 各種研修及び講習会（日本体育協会・県NPO主催）
- 県主催クラブマネジャー講習会（1名）

【文部省委託地域子ども教室推進事業】

「見沼わくわく広場」

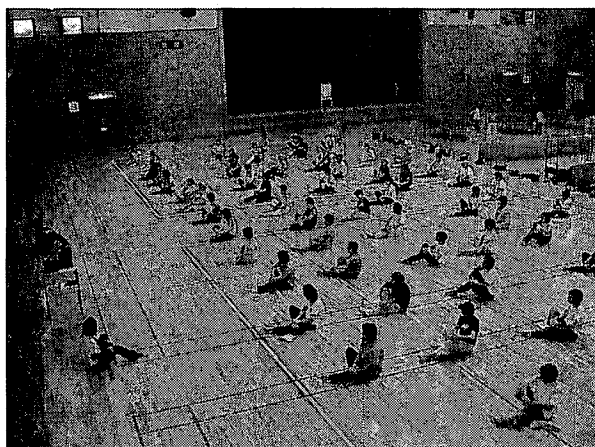
【日本体育協会育成指定クラブ委託事業】

「さいたまスポーツクラブ」育成支援
【さいたま市文化事業補助金事業】
「見沼歌と踊りと太鼓のフェスティバル」

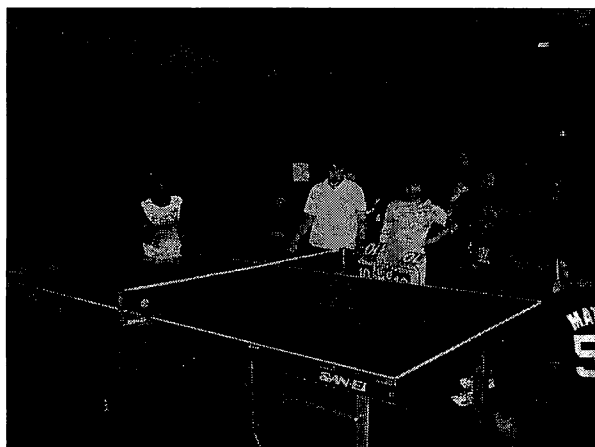
2006年度 NPO法人 さいたまスポーツクラブ
スポーツ事業



ミニテニス教室



健康体操



卓球教室



健康パドル体操



キッズサッカークリニック

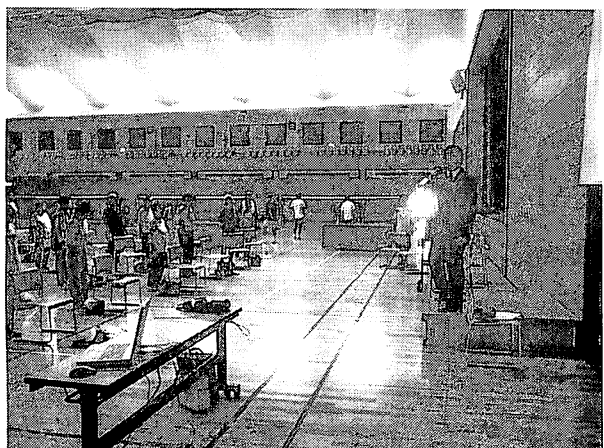
2006年度 NPO法人 さいたまスポーツクラブ
文化事業



健康ウォーキング塾



放課後子ども教室
「わくわく広場」



ヒザコン健康講座



歌と踊りと太鼓のフェスティバル



寄せ植え講座

Ⅲ－５）２００７年度 事業・活動検証

指定管理者として２年目が経過して地元住民からも高い評価を得るようになった。スポーツ事業では指導者のスキルアップでスポーツ種目も増え内容が充実してきたため受講人数も増加している。地域住民からクラブハウス建設の提案がなされ２００９年度までの完成を目標に建設準備委員会が設立された。

１ 事業の成果

（１）の事業について

大宮武道館指定管理者として２年目を迎え、「市民サービス」と「施設有効活用」の更なる進歩を目指して事業を実施した。また、県教委スポーツ振興課との協力事業や地域のグラウンドゴルフ活動団体との協力事業実施など地域のスポーツ活動推進を図ることができた。スポーツ活動では１３種目で２０教室を実施し、他にも「見沼グラウンドゴルフ大会」など単発のイベントや文化活動事業も含めると年間で約１１,０００人の見沼区を中心とする市民に活動の機会を提供することができた。前年度に増して「総合型地域スポーツクラブ」とし充実した活動が出来、住民の参加意識も広がり成果をあげることができた。

「放課後子ども教室」は前年度に引き続き、地域で地域の子どもたちを育む活動が行われ、次年度更に学校を巻き込んで展開していく方向付けができた。

（２）の事業について

「総合型地域スポーツクラブ」の認知度が地域に浸透してきた。

「放課後子ども教室」は２００６年度と同様、住民のボランティアで事故なく、さまざまな体験をさせる事が出来、子供達のコミュニケーションの醸成に大きな役割を持つようになってきた。

２ 事業の実施に関する事項（２００７年４月１日～２００８年３月３１日）

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の範囲及び人数
（Ⅰ）各種スポーツ活動、レクリエーション活動及び文化活動の育成及びその普及	卓球・ミニテニス・ウォーキング・サッカー・フットサル・健康体３種・パドミントン・吹き矢・ヨガ・ニュースポーツ３種・グラウンドゴルフのスポーツ活動 文化活動の発表及び交流活動 他の地域活動の協力	２００７.４.１～ ２００８.３.３１	見沼区大砂土東公民館・武道館・堀崎公園グラウンド・七里コミュニティセンター・片柳コミュニティセンター・堀崎町自治会館・大宮北小学校他	約 ６０人	主に見沼区中心とした市民延べ約 １１,０００人
（Ⅱ）その他この法人の目的を達成するために必要な事業	ホームページ等による「総合型地域スポーツクラブ」に関する説明及び啓蒙 「放課後子ども教室」実施 ホームページ揭示	２００７.４.１～ ２００８.３.３１	見沼区堀崎公園グラウンド・堀崎町自治会館他	５０人	主にさいたま市民約 ３,０００人

２００７年度 事業報告

【一般管理等事業】

- １．事務局の運営
- ２．経理・財源確保（バナー広告・寄付）
- ３．県及び市等への申請、報告等
- ４．ホームページ管理
- ５．渉外（市・県・他NPO法人・他総合型クラブ・地域活動団体等）
- ６．各種会議設定および報告等
- ７．活動の支援（保険事務・用具等購入・人員確保等）

【主催および主管事業】

スポーツ活動種目

- ・卓球 46回 912人
- ・ミニテニス 14回 130人
- ・サッカー（U-6） 1回 65人
- ・健康体操（体操・ヒザコシ講座・パドル体操・親子エクササイズ等）
70回 1,931人
- ・ヨガエクササイズ 255回 5,438人
- ・夏休みスポーツチャンバラ、キンボール、親子Tボール等
8回 151人
- ・パドミントン 17回 289人
- ・健康吹き矢 54回 653人
- ・グラウンドゴルフ大会 1回 332人
- ・トップ選手とふれあう子どもスポーツ体験モデル事業
埼玉県共催 172人

文化活動種目

- ・歌と踊りと太鼓のフェスティバル（２日間） 770人
- ・アルディージャ応援 1回 42人
参加人員 総合計 10,885人

【共催・協力等】

- ・見沼区ふれあいフェア（パドル体操）－見沼区協力
- ・歌声ギャラリー（実行委員会）－けやき広場－実行委員会共催
- ・総合型スポーツクラブフェスタ（ふあいぶる）－埼玉県共催
- ・ウォーキングーヘルシーランド共催

【研修等】

- ・各種研修及び講習会（県スポーツ研修センター主催）

【さいたま市放課後子ども教室推進事業】

- 「見沼わくわく広場」実施（子ども日舞教室含む）

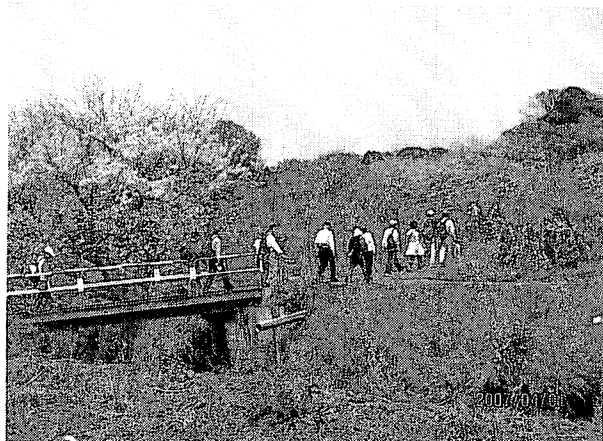
【さいたま市文化事業補助金事業】

- 「見沼歌と踊りと太鼓のフェスティバル」

【県NPO助成みんなでサポート事業】

- クラブハウス建設に関する事業実施（クラブハウス見等）

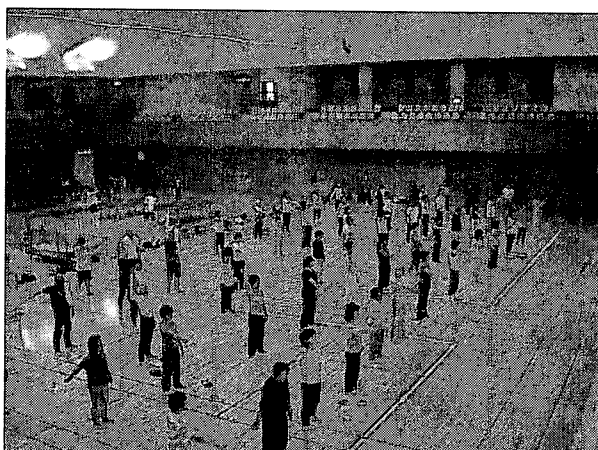
NPO法人 さいたまスポーツクラブ
2007年度活動の記録



健康ウォーキング塾
2007年4月1日・お花見ウォーキング



親子エクササイズ・大宮武道館にて



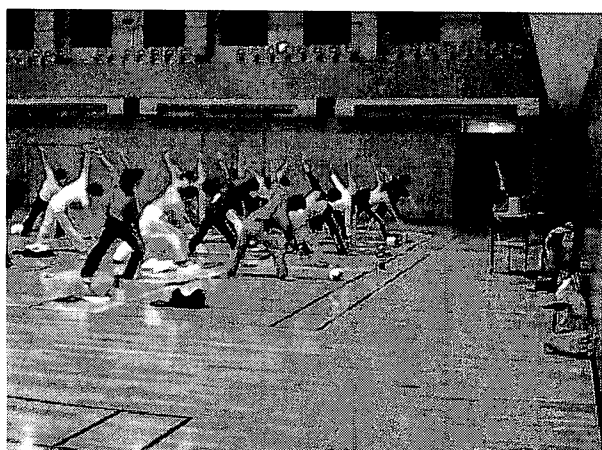
シニア健康体操教室・大宮武道館にて



健康吹矢教室・大宮武道館にて



健康パドル体操教室・大宮武道館にて



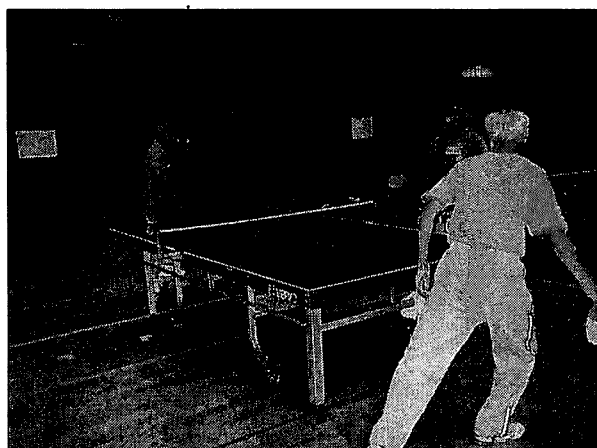
ヨガエクササイズ・大宮武道館にて



ジュニア卓球教室・大宮武道館にて



バドミントン教室・大宮武道館にて



シニア卓球教室・大宮武道館にて



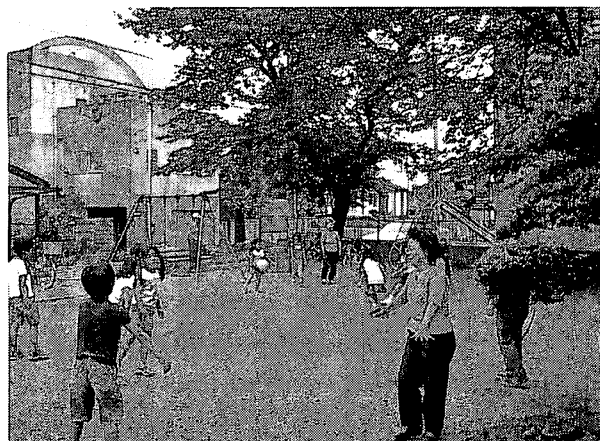
夏休みスポーツ教室（大宮武道館）
キンボール教室



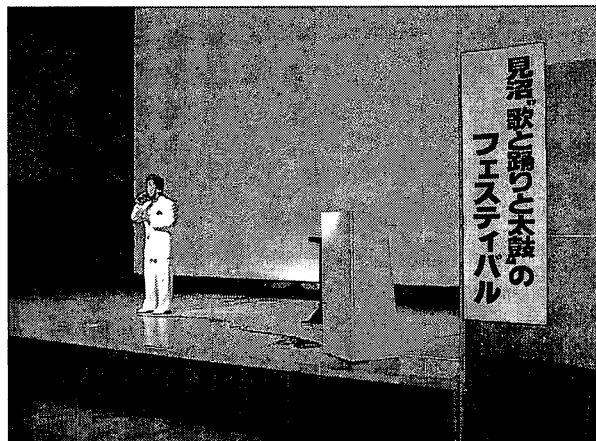
ミニテニス教室・大宮武道館にて



夏休みスポーツ教室（大宮武道館）
Tボール教室



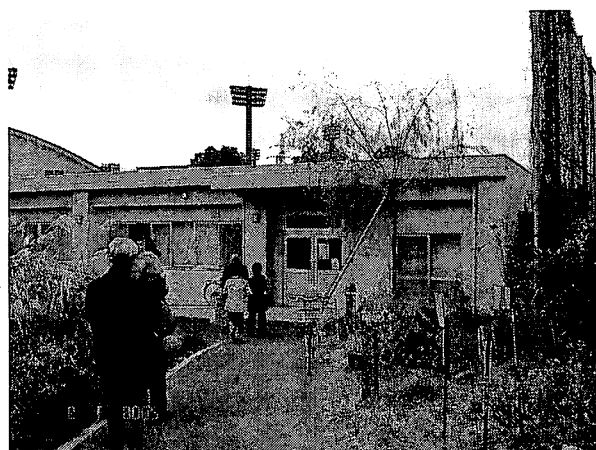
わくわく広場・堀崎町自治会館にて



2007カラオケ大会
2007年9月2日・片柳コミセンにて



日舞教室・堀崎町自治会館にて



近隣の総合型地域スポーツクラブ視察
2008年1月9日・向陽スポーツクラブ見学



見沼歌と踊りと太鼓のフェスティバル
2007年7月8日・七里コミセンにて



近隣の総合型地域スポーツクラブ視察
2008年3月4日・あさひスポーツクラブ見学



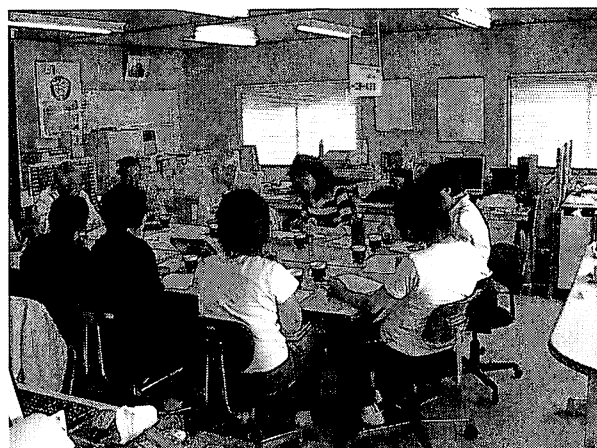
グラウンドゴルフ大会
2007年11月28日・堀崎公園にて



トップ選手とふれあう子どもスポーツモデル体験事業
2007年2月9日・堀崎公園にて



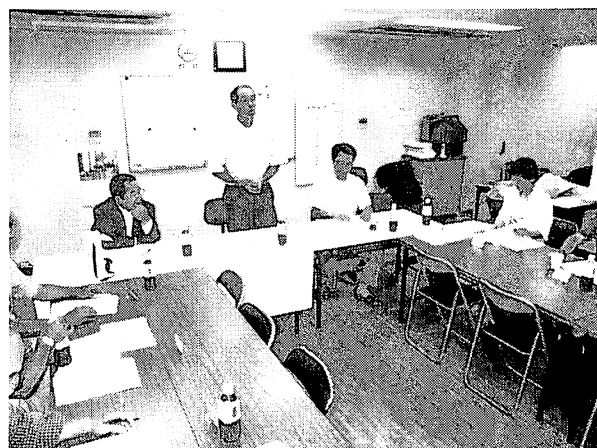
見沼区ふれあいフェア
2007年11月10日・堀崎公園にて



定例会・運営委員会・総会
2007年5月8日・運営委員会・大和田事務所



キッズサッカークリニック
2007年9月16日・堀崎公園にて



定例会・運営委員会・総会
2007年6月13日・総会・廣栄ビルにて

IV 今後

総合型地域スポーツクラブ設立から約5年が経過した。設立趣旨に沿った活動の広がりや充実度という点においてはまさしく着実に確実にここまで推移してきた。

これまで見沼区役所周辺の大宮武道館、自治会館、サッカー場、テニスコート等の施設を行政から借用して各事業を展開してきたが、更なる事業の発展・充実のためには地域住民が求める『NPOさいたまスポーツクラブ』のシンボルとしての総合型スポーツクラブにとってなくてはならない「クラブハウス建設」の必要性が急務となってきた。

幸いにも堀崎公園内にある旧給食センター跡地の再利用を行政側から提案を受けたのを機に、クラブハウス建設の機運が高まり2007年に「建設準備委員会」を設立した。クラブハウスの機能はクラブ会員及びクラブ独自の事業展開ばかりでなく、隣接する多目的グラウンドやテニスコートでの大会を楽しんだあとのパーティーや休息の場として提供していく事もできる。また、クラブ会員以外の住民がスポーツを楽しんだ後のシャワー浴や軽食レストランでの団樂の場の提供や文化活動に対しても要望があれば施設使用の便宜を図る事も出来る。完成後は「地域に開かれたクラブハウス」として地域のシンボルとなれば嬉しい。

V まとめ

2003年に「NPOさいたまスポーツクラブ」は地元調査の結果や地域住民の意見や要望を参考にし研究を重ねた後に、さいたま市見沼区をその活動拠点として設立された。

- ① 地域住民が気軽に複数のスポーツを継続的に楽しめる場を創設し、幅広い年齢層の参加を促して、地域社会のコミュニケーションの増大を図る。
- ② 地元指導者を育成し、会員個々のニーズに応じた的確な指導ができる体制を整えることで興味や関心、技術や技能のレベルに応じたスポーツを楽しむことが出来る環境をつくる。
- ③ プロスポーツ選手との交流・連携を通して地域の連帯感を深める
- ④ スポーツだけではなく、文化的な面からも地域社会に貢献すると同時にヨーロッパ各都市に見られるような「総合型スポーツクラブ」の実現を目指す。

上記の項目を設立の目的に掲げ取り組んできた。

事業内容も2007年の5年を経過した時点でスポーツ活動は13種目で20教室を運営できるまでになり、文化的活動においても「地域フェスティバル」をはじめ「子供わくわく広場」まで幅広い事業展開ができるようになってきた。また、県や市との共催事業にも積極的に参加することで地域住民のボランティア精神が醸成され行政からも高い評価を得るようになりクラブ運営メンバーの自信にもつながった。

2007年4月には「埼玉県スポーツ振興のまちづくり条例」

が施行されたのを機に「NPO法人さいたまスポーツクラブ」は住民の力でクラブハウス建設に向けて建設準備委員会を立ち上げた。2009年5月オープンに向けて現在建設が進行している。このクラブハウスを中心とした活動を通してスポーツの役割と機能である、健康の維持増進、高齢者等の介護予防、青少年の健全育成などの実現を通じて「元気で明るい街づくり」に貢献したいと考えている。この時点で2008年度の検証は出来ていないが地元住民と連携も深くなり『地域に開かれたスポーツクラブ』として全国のモデルクラブになれば幸いである。